

育 Me 科 学習指導案「状況に応じた挨拶」

○ねらい

思春期を迎え、他者との関わり方に変化が出てくる時期であるが、自分の立場や相手との関係から挨拶の仕方や内容が変わってくることを理解し、実践しようとする態度を養うことができる。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の内容「不得意を乗り越える」の内容を確認する。 <p>2 学習内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝から授業までの間に誰に挨拶をしたか思い出させる。 ・挨拶をしたそれぞれの相手にどんな挨拶をしたか確認する。 ・モデリングを見せ、挨拶を受ける側の気持ちを考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈場面1〉登校したとき先生に、だるそうな「おはようございます。」</p> <p>〈場面2〉登校したとき下級生に、冷たい「おはようございます。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活だけでなく職場体験や来年度の生活など、今後の学校生活で様々な方に会うことを確認し、本時の学習へのつながりを理解させる。 <p>3 本時のめあての掲示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>誰に対しても印象のよい挨拶しよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで行う。 ・確認した挨拶の場面を実際に全体の場でやらせる。 ・挨拶をする側は、いずれも教師が行う。生徒には受け取る側の気持ちを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかりやすい伝え方」(R5)「非言語的コミュニケーション」(R5)を用いてペアで確認する。 ・「集団の最善意思決定」(R5)を用いて、受け手の様々な意見を引き出したい。
展開	<p>4 【挨拶のポイント】の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場面に応じた挨拶をすることが必要になることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【挨拶のポイント】</p> <p>①適度な声量 ②優しい目で ③柔らかない笑顔 ④体を使う</p> </div> <p>5 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人(A:挨拶する B:挨拶を受ける C:評価者)グループで活動する。 ・机上に場面、自分と相手の関係などを書いたカードを裏返して並べる。Aはカードを一枚引き、書かれた内容通りにBに挨拶をする。Cはその様子を【挨拶のポイント】に沿って評価する。実演後、Cはアドバイスを伝える。 <p>6 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする生徒、挨拶を受ける生徒を抽出し、グループ活動と同じようにやらせてみる。それを全員で評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、相手や場面を示しながら、挨拶を使い分けていることを理解させる。 ・教師も評価者になりながら、アドバイスを送る。 ・挨拶に一言付け加える視点を持たせられると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「発想の転換」(R5)を用いて、批判や否定するようなアドバイスにならないよう留意させる。 ・挨拶を受けた側の気持ちで評価をさせる。
まとめ	<p>7 まとめ・ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の普段の様子から、【挨拶のポイント】に合った良い姿を伝える。 ・振り返りを記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【出口での生徒の意識】</p> <p>「適度な声量で挨拶はできていても目や表情、体を使うことまではできていない。明日の朝、相手に応じて表情や体を使って気持ちのよい挨拶をしたい。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットに記入する。 ・QRコードを提示する。 	